

1 学校教育目標と重点目標

学校教育目標
<p>教育基本法ならびに学校教育法の精神に則って、次の目標を達成することに努める。</p> <p>(1) 人格の形成をめざし社会の一員としての必要な資質を養うため、教養を高める。</p> <p>(2) 日本の工業の構築発展を支える技術者として、地域に根ざした教育活動から、技能・知識・態度を修得する。</p> <p>(3) 本校の伝統の校訓 「質実剛健」、「至誠一貫」、 校是「技術者たる前に 人間たれ。」の精神を涵養する。</p>
重点目標（中・長期的目標）
<p>地域社会から求められる生徒を育成し、より魅力有る工業高校の姿を求める。</p> <p>(1) 学力の一層の向上に努める。</p> <p>(2) クラブ活動の充実と活性化に努める。</p> <p>(3) 地域との連携により、社会に連動した魅力と活力のある学校づくりに努める。</p>
今年度の重点目標
<p>(1) 生徒の学力を伸ばし、進路実現へとつなげる教育</p> <p>ア 観点別評価のフィードバックと授業改善による個に応じた指導と学力の向上</p> <p>イ 授業公開・参観による教員の資質・能力の向上</p> <p>ウ キャリア教育の充実による、社会を担い貢献できる生徒の育成</p> <p>エ コミュニケーション能力や情報活用・発信能力に優れた人材の育成</p> <p>(2) 生徒一人ひとりが、安全で生き生きと充実した高校生活をおくる環境づくり</p> <p>ア 挨拶の励行、清掃の徹底による学習環境の整備（5Sの徹底）</p> <p>イ 各種コンテスト、資格取得や技能検定の情報提供と積極的な挑戦への支援</p> <p>ウ 生徒会活動、部活動の一層の充実・発展</p> <p>エ いじめ、体罰のない安心安全な学校</p> <p>オ 支援を必要とする生徒や悩みを抱える生徒への相談・支援の充実</p> <p>カ 情報モラル・Iot教育の計画的な指導（HR, 学年, 生徒指導, 進路指導 連携）</p> <p>(3) 地域に根ざし、地域の期待に応える、開かれた学校づくり</p> <p>ア 学校開放・地域貢献・地域連携・地域活性化・ボランティア活動への取り組み</p> <p>イ 国・県の指定事業、各種団体の助成事業の積極的な活用</p> <p>ウ 広報活動の強化（HP等による積極的な紹介、工業高校の存在意義の再確認）</p> <p>エ 小中学校におけるものづくり教育の連携</p> <p>オ 本校の将来構想について検討の推進</p> <p>カ 近隣地域の清掃活動</p> <p>キ 地域の子どもたちから「あこがれの岡工生」としてみられる生徒の育成</p>

2 評価項目と評価の観点

(評価) A:十分 B:概ね十分 C:不十分

No.2

領域	対象	評価項目	評価の観点	内部評価	成果と課題	外部評価
教育活動	教育課程	教育課程の編成と検証	新学習指導要領を見据えた教育課程は、生徒の実態や希望に、また、地域の産業界の要望に応じたもので、生徒の学力を向上させるものであるか。	A	新学習指導要領や本校生徒の現状に合わせて作成し、令和2年度内に令和4年度入学生教育課程表が点検を終えることができた。	B
		選択制の実施	生徒の実態と要望に応じた多様な科目設定、並びにそれぞれの進路に応じた適切な科目選択指導が行われたか。	A	本校の実情に合わせて、多様な選択科目を選べるよう調査し、保護者懇談会において最終決定をするなど、個々の進路希望に沿う指導を実施できた。	A
	学習指導	習熟度別学習・学力の向上	生徒の実態に即した分かり易い授業の実践、学力や進路、資格取得に対応した補習授業の実施など、手厚い学習指導を通して生徒の意欲や基礎学力の向上に努めることができたか。又、習熟度別学習の導入により、それぞれの講座で目標とする学習効果をあげることができたか。	A	新型コロナウイルスの影響があったが、補習や資格取得等は例年並みに行うことができた。基礎力診断テストを通して、生徒の躰きの克服や学習意欲の向上につなげている。今年度では、Edtech事業で1学年にスタディサプリを導入することができたが、今後もが急速に進む教育ICT中に対応していきたい。	B
		開かれた学校教育	開かれた学校教育を目指し、シラバスの公開や授業公開などを実施し教育活動を周知することができたか。また、その活動を通して授業改善や教員の資質能力の向上に寄与できたか。	B	授業公開を春(4月)は新型コロナウイルスの影響で中止したが、秋(10月)は感染対策をしながら実施した。本校保護者・中学生・中学生保護者に本校の教育活動を周知できた。シラバスは、臨時休業などで例年より公開が遅くなったが、公開できた。授業アンケートを年2回実施し、今後はGoogle Formを活用し、より有意義なアンケートを実施したい。	B
		保護者との協力体制	学習指導に関して、入学式や地区PTAなど機会を捉えて保護者への説明ができたか。家庭連絡書などにより、保護者との連絡を密にした学習指導が実施できたか。	B	今年度も入学式や地区PTAにおいて、資料に基づきながら、本校の学習指導について説明できた。今後も成績不振など問題のある時は、家庭連絡書を利用したり、早めに電話連絡などで状況を報告し、お互いに情報を共有しながら対応していきたい。	A
	生徒指導	家庭との連携	家庭や学校生活での行動の変化等の心配事や、事件・事故・問題行動発生時等に速やかに対応できるように家庭との連携が取れているか。	B	入学式・地区PTA・保護者懇談会を通して、本校の生徒指導の基本方針を保護者へ説明することができた。問題発生時には、関係部署と連絡を取り合い、保護者に説明し情報を共有しながら対応している。	B
		生徒への意識啓発	校外外で起こりうる事件・事故に対して正しく対処するにはどうしたらよいか考えさせ、また、常識ある行動を取れるように指導したか。	B	集会時など機会あるごとに生徒全体に注意喚起を促し、自ら問題点を明らかにし、高校生としての自覚ある行動がとれるよう指導している。自転車事故については、警察とも密接な連携をとっている。また、SNSに関する事案については、情報モラル教育の一環としてネット使用にあたっての危険性や留意点について学習を行った。	B
		相談体制の充実	生徒が相談しやすい校内体制を整備し、それが安心安全な学校生活につながったか。	A	多様化が進む生徒たちの状況把握に努めるとともに、必要に応じ担任、養護教諭、そして教育相談および特別支援の各コーディネーターが状況により相談相手となっている。特に注意が必要な場合は生活指導が慎重に対応している。	B
		手続きのアカウントビリティ(説明責任)	生徒指導上の「指導」において、その根拠や手続きについて生徒や保護者に十分な説明と理解がされているか。	B	様々な場面で発生する問題行動への対応は個々の生活環境や家庭環境によって異なるため、その都度係内で検討しながら最善の策を模索している。実際の指導に当たっては保護者が納得した上で協力してもらえるような環境作りをして取り組んでいる。	B

領域	対象	評価項目	評価の観点	内部評価	成果と課題	外部評価
教育活動	生徒指導	職員協力体制の確立	日常の生徒指導において、全職員の協力体制ができて いるか。	B	生徒指導は全職員が情報を共有し進めていかなければなら ない。従って、職員が同じ認識をもち、同じ指導をするこ とが必要である。科・係・学年など関係した部署で連携を 取りながら取り組んでいる。問題発生時の連携は特に慎重 に実施している。	A
	進路指導	進路希望に応じた進路の実 現	生徒への進路情報の提供及び進路相談業務を通して、 生徒の希望・能力・適性に応じた進路がかなえられる よう指導援助できたか。	B	3年については、7月の保護者懇談会にて最終の進路希望を確 認した。就職試験開始が1か月遅れるという状況の中、1月29日 時点で、企業への就職希望者104名全員が内定をいただくこ とができた。進学者は、国公立大学1名を含め84名が合格している。 進路が確定していない生徒に対し、希望する進路が実現するよ う担任、保護者と連携し進路指導を実施中である。	A
		進路情報の収集	入試説明会や学校訪問に参加し、また、事業所訪問や 求人票の受付業務等を通して、より詳細な情報提供が できたか。 生徒が情報を得やすいように進路指導室および進路資 料室を整備できたか。	A	大学見学、説明会等への参加の機会は、コロナ禍の中、大き く減少してしまった。しかし、生徒の希望先を中心に、入試担 当者や該当する学科の先生と連絡を取り合う中で、情報の収集 に努めた。また事業所は、来校を遠慮するところも目立った が、再度昨年度求人をいただいたところに来校を再度依頼し、 例年通り情報をいただきながら求人受付を実施することができ た。	B
		職業意識の形成	適切な進路計画の設定・実施を行ったか（インターン シップ・事業所見学・進学ガイダンス・模擬試験・進 路講話など）。	B	コロナ禍の中、会社学校見学、企業研究会、2年生でのイン ターンシップや諏訪メッセへの見学等が中止になった。しか し、代替えのものとして、地元企業を招いての講演会に加え模 擬就職活動（事前事後学習を含め8時間）を実施した。また、市 民新聞主催の諏訪地区企業勉強会やハローワーク企画の校内企 業学習会への参加を予定している。これらの取り組みを進路選 択や職業選択にとって重要な行事ととらえ、生徒の職業意識の 形成に努めた。	A
特別教育活動	生徒会	生徒の自主活動	自主的、主体的な生徒会活動にできるよう本部役員が 企画運営を考え活動する中で、達成感や充実感を得る ことができたか。また、全校生徒が生徒会活動に対し て意識を向上させることができたか。	B	今年度は例年通りの生徒会活動が厳しい状況ではあったが、 感染症対策を考慮しながら生徒会行事をなんとか形にするた めに主体的な活動が行えた。立会演説会では全校生徒を体育館に 集めることができなかつたので、昨年度の状況により近づける ためライブ配信で実施した。トラブルもあったが、この経験を 活かして次の生徒総会も実施していきたい。また外部団体との 関わりでは、岡谷市町づくり会議で岡谷市の将来を高校生の視 点で意見交換し、実現に向けて取り組んでいる。12月には岡谷 町づくり会議の活動として、岡谷市役所前の蚕糸公園のイルミ ネーション装飾に参加した。学校外の活動で得られた刺激を生 徒会行事等に還元していきたい。	A
		部活動の充実	部活動に入っている生徒が日常のクラブ活動を充実さ せ、各クラブや各自が定めた目標に向けて意欲的に取 り組めたか。 また、各クラブの活躍を、学校内外に広く伝え、活動 の励みにすることができたか。	B	ラグビー部は第100回全国高等学校ラグビーフットボール 選手権大会長野県予選会で2年ぶりの優勝を果たし、全国大会 の出場を決めた。また、軟式野球部は第26回北信越地区高等 学校軟式野球大会で優勝を果たした。大会結果等は生徒会誌に も載せ伝え、各新聞にも取り上げられてもいる。	A

領域	対象	評価項目	評価の観点	内部評価	成果と課題	外部評価
学校運営	教務	より良い学校運営	各係、委員会等との組織的な連携を図り、効率的な業務の推進に努めたか。 学校全体のバランスを見据え、諸行事の計画および実施において、より良い学校運営に努めたか。 新型コロナウイルス感染症に対して適切な学校対応をおこなうことができたか。	B	臨時休業による年間計画変更や感染症対策の徹底など急な対応に対して、教務係内の協力体制を作り、常に学校全体の流れを視野に入れながら、円滑な学校運営に努めた。 綿密な計画のもと、職員会議で早めの提案および質疑を行うことで、職員間の意思疎通が高まると共に、適切な支援とサポートを行うことで、大きな混乱もなく学校運営が行われている。 コロナ禍による計画変更もあったが、学校全般にわたる諸行事に対して、担当者及び係に対して協力して行うことにより大きな混乱もなく行事を終えることができた。	A
		地域に開かれた学校づくり	学校要覧、学校案内、学校パンフレット等を利用して、学校の魅力と特徴を発信し、地域にアピールすることができたか。 体験入学、学校見学等により、地域の中学生や保護者に対して、本校の教育活動を正しく理解してもらうことができたか。	A	ホームページの管理と充実、学校パンフレット(1500部印刷)の有効利用等、随時積極的な情報発信に努めた。 新型コロナウイルス感染症対策のため、体験入学(見学)・(体験)とも急遽時期を変更して実施したが、見学では生徒・保護者358名、体験では生徒・保護者218名の参加者があり、アンケート結果からも好評であった。 岡工トピックスを編集し、本校生徒の活躍を記録に残し、諸行事、会議において配布した。	A
		入学者選抜業務	入学者選抜説明会等を利用して、本校と募集の観点に沿った適切な説明を行うことができたか。 前期選抜および後期選抜ともに、綿密な計画のもとに、的確な選抜業務を行うことができたか。	A	10月の入学者選抜説明会では、本校に入学実績のある19校の中学校の進路担当者が出席した。質疑応答では多くの質問があり、中学校の先生方からは高評価であった。また希望のあった中学校には個別に訪問を行った。 12月には入学者選抜説明会およびクラブ見学会(中学生・保護者向け)を実施し、177人の参加者があった。学校のアピールや入試概要の説明、クラブ見学をおこない、高評価であった。 新型コロナウイルス感染症への対応や面接試験の方法・評価について綿密な見直しを行い、より適正な入学者選抜試験に備えている。	A